

《事故情報》

調理場でカセットコンロ用ガスボンベ爆発事故

(一社)大阪府高圧ガス安全協会
事務局

令和5年10月28日(土)午後0時45分頃、すし店でカセットコンロ用ガスボンベが爆発し、お客様と店員がケガをしたという事故がありました。

カセットコンロ用ガスボンベは熱源や熱風/蒸気の近くに保管するなど保管管理を誤ると、ボンベの肉厚が薄いので短時間で加熱され破裂・爆発する可能性があります。

事故原因の詳細は不明ですが、本事故の状況から学べる教訓を職場で考えていただき、自主保安力の強化に役立てていただきたく、情報を配信させていただきます。

1. 事故概要

- (1) 発生日時：2023年(令和5年)10月28日(土) 午後0時45分頃
- (2) 発生場所：大阪市北区 すし店「天満鮎」の調理場
- (3) 物的被害 不明
- (4) 人的被害 お客様と店員の男女12人が顔や腕にやけどを負った(軽傷)
- (5) 事故原因 報道では「調理場にあったカセットボンベが何らかの原因で加熱され、破裂した」と記載されていますが詳細は不明。

2. 報道記事(添付します)

- (1) インターネット情報
「大阪市 すし店 カセットボンベ爆発事故」で検索すると出てきます。

以上

すし店でカセットボンベ破裂か 客と従業員 12人けが 大阪 北区

2023年10月28日 16時53分 大阪府

28日昼すぎ、大阪 北区のJR天満駅近くのすし店で「爆発があった」と消防に通報があり、客と従業員あわせて12人が軽いけがをしました。店内にあったカセットボンベが何らかの原因で破裂したとみられるということで、警察が当時の状況を詳しく調べています。

警察や消防によりますと、28日午後1時前、大阪 北区天神橋のすし店「天満鮎」で「爆発があり、けが人が出ている」と従業員から通報がありました。

警察官などが駆けつけたところ、火は出ていませんでしたが、店内には当時、大勢の客がいて、このうち30代から50代の男女8人と従業員4人のあわせて12人がやけどなどの軽いけがをしたということです。

警察によりますと、店内の防犯カメラの映像などから、調理場にあったカセットボンベが何らかの原因で加熱され、破裂したとみられるということで、警察が当時の状況を詳しく調べています。

現場はJR天満駅から北におよそ100メートルの飲食店が多く建ち並ぶところです。

店内にいた客「鼓膜が痛くなるくらい大きな音」

当時、店内にいたという50代の男性2人は「バーンという鼓膜が痛くなるくらい大きな音がして、その直後に客の女性の髪の毛が焦げているのが見えました。店内は満員でしたが、従業員がすぐに外に避難するよう誘導してくれたので、大きな混乱はありませんでした」と話していました。

すし店で爆発、客と店員12人軽傷「髪の毛が焦げた人も」カセットボンベ加熱し破裂か 大阪

[2023年10月28日17時43分]



28日午後0時45分ごろ、大阪市北区のすし店「天満鮨」の調理場でカセットボンベが爆発し、客と店員の男女計12人が顔や腕に熱風を浴びてやけどを負った。いずれも軽傷。大阪府警曽根崎署は何らかの原因でボンベが加熱されて破裂したとみて、業務上過失傷害容疑を視野に捜査している。

署によると、けがをしたのは客の30～50代の男女8人と、店員の20～50代の男女4人。当時は店内に計約100人がいた。爆発で一瞬火柱が上がったが、建物内に大きな損傷はないという。

現場はJR大阪環状線天満駅から北に約120メートルの飲食店街。当時店内にいた京都市の50代男性は「ぼーん」という大きな爆発音を聞き、オレンジ色の火が上がったのを目撃した。「爆風もあった。髪の毛が焦げた人や顔を手で押さえている人もいた」と驚いた様子だった。

近くの精肉店店員益田みつきさん（60）も「ぼん」という大きな音を聞いた。店は最近

火災があった飲食店付近に集まる消防隊員ら（共同）

オープンしたばかりだったといい「爆発後に店内からたくさんお客さんが出てきた」と振り返った。

現場周辺はパトカーや救急車が数多く停車し、一時騒然とした。一帯に規制線が張られ、多くの人が見守る中、警察官は慌ただしい様子で「立ち止まらないでください」と声を張り上げ、交通誘導していた。（共同）